

平成24年度 学校経営計画に対する中間評価報告

石川県立金沢泉丘高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）および後期の扱い（改善策）
<p>「勉学を第一義とする」をふまえ、高い学力を身につけ進路志望の実現を図る。</p> <p>・1時間の授業の大切さを意識し、意欲的に取り組む。</p>	<p>① 校内研究授業や研究協議会などを通して、授業の質的な向上を図り、授業改善に取り組む。</p>	教務課	<p>【満足度指標】</p> <p>生徒の授業に対する満足度が高まった。</p>	<p>「授業が充実しているか」について、4段階評価の平均値が、</p> <p>A 3.40点以上 B 3.35点以上 C 3.30点以上 D 3.30点未満</p> <p>※ 4段階評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よくあてはまる …4点</li> <li>・ややあてはまる …3点</li> <li>・あまりあてはまらない …2点</li> <li>・全くあてはまらない …1点</li> </ul>	<p>[判定] C</p> <p>7月実施の授業評価では 3.34</p>	<p>・校内研究授業を年間7教科で計画、実施しており教科の研究テーマに基づいた研究授業および協議会を開催している。また、教員同士の授業参観を前期で一人平均4.2回行っている。</p> <p>・昨年3.35、一昨年3.32である。前期はわずかにB判定に届かなかったが、熱意と分かりやすい授業を心がけるとともに、達成感のある授業展開に努め、B判定となるよう努力したい。</p>
	<p>② 基礎力の充実を大前提とした上で、難関大入試分析や東大・京大・医学部説明会等の充実を図る。</p> <p>3年生には、きめ細やかな指導ができるよう、模擬試験のデータ処理・分析等を工夫する。また、受験集団としての意識を高める工夫をしていく。</p> <p>2年生には、基礎力の充実に加えて、標準を超えるレベルの問題に対する対応力も育てる。</p>	進路指導課	<p>【成果指標】</p> <p>受験集団としての意識が高まり、東大・京大・国公立大学医学科の合格者が増加した。</p>	<p>東大・京大・国公立大学医学科合格者の合計人数（重複可）が、</p> <p>A 40人以上 B 30人以上 C 20人以上 D 20人未満</p>	未定	<p>・3月末の受験結果により判定する。</p> <p>・東大・京大・医学部説明会（2・3年）を実施した。</p> <p>・東大・京大・医学部を志望している生徒数は約120名、東大・京大・医学部を含む難関大志望者は265名（9月末）</p> <p>・今後、模試等の結果を踏まえ個別指導を更に充実させる。</p>
	<p>③ ホーム担任及び学年主任は、年間5回以上の個別面接指導を行い、生活面をはじめ、授業や家庭学習、校外模試に臨む姿勢など学習面について、個に応じた指導を行う。</p>	1学年 2学年	<p>【満足度指標】</p> <p>個人面接指導により、生徒の学習姿勢や学力が向上した。</p>	<p>「学年団の指導が、自分の学習姿勢や学力の向上に役立った」という生徒の割合が、</p> <p>A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p>	<p>[判定] A</p> <p>10月実施のアンケートでは、 1学年 92.4%、 2学年 93.4%</p>	<p>・各学年とも少なくとも3回以上の個人面談を行い、学習・進路等についての相談を受け、個別指導を行った。また、生徒を励まし、高い志望を持たせるため、学年主任による面談も実施している。</p>
	<p>④ 授業内容をより充実させるとともに、朝学習や放課後補習・個人添削等を通して、生徒一人一人の志望や学力にあわせた指導を時機を逸することなく実施する。</p>	3学年	<p>【成果指標】</p> <p>個に応じた指導により、第一志望の大学への進学が実現した。</p>	<p>難関10大学及び国公立大学医学科の合格者が、</p> <p>A 100人以上 B 90人以上 C 80人以上 D 80人未満</p>	未定	<p>・3月末の受験結果により判定する。</p> <p>・6月下旬から生徒の志望に応じた補習を実施している。また、最難関大学を志望する生徒への添削指導も各教科で取り組んでいる。</p>

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）および後期の扱い（改善策）
2 「品位を高め、他の人格を重んずること」をふまえ、よりよき集団づくりを目指し、絶えず自己研鑽に努める生徒を育てる。	① 各種の講演会を生徒の発達段階に応じて適正に開催し、品位を高め心豊かで、将来リーダーとなる資質を育成する。	総務課	【満足度指標】 講演会を積極的に評価している生徒の割合が大きい。	生徒によるアンケートで「講演会が知識や経験を学び、生き方を考える良い機会となっている」の項目で、（よくあてはまる）＋（ややあてはまる）の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	未定	・12月にアンケート実施予定。
・挨拶の励行、体力の向上、環境美化、成果ある部活動と生徒会活動の活性化に努める。	② 挨拶をきちんと行うことにより、相手を尊重する態度の育成を図る。教育活動のあらゆる機会を通して、しっかりとした挨拶の実行を促す	生徒指導課	【成果指標】 しっかりと挨拶が出来る生徒が多くなった。	挨拶・会釈に関して「自分はしっかりと挨拶をしている」と答えた生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	[判定] B  10月実施のアンケートでは、83.6%	・「よくできている」「ややできている」と答えた生徒の割合は、83.6%であった。 ・声が小さく元気がないという指摘もあり、登校時の挨拶運動をはじめ、学校生活全体を通して爽やかな挨拶ができるよう指導していきたい。
	③ 部活動等の活性化及び競技力の向上を図る。	生徒指導課	【成果指標】 生徒主体の活発な部活動により、県総体の総合順位が上がった。	県総体の総合順位が、 A 4位以上 B 8位以上 C 12位以上 D 13位以下	未定	・登山部がインターハイに出場した他、北信越大会には個人で陸上競技、水泳、柔道が出場した。県総体では、昨年より多くの部がベスト8に進出する活躍をみせた。 ・運動部の加入率は昨年並みであり、下校時刻までの時間を有効に活用した活発な部活動が維持できている。 ・新人大会に向けて、生徒と共に力を合わせて頑張っていきたい。
	④ ISO活動を通して環境保全意識の向上を図る。 ①節電・節水②紙の節約・リサイクル③ゴミの分別の3点を大きな目標とする。	保健環境課	【満足度指標】 清掃活動が充実し、学校の環境美化が進んでいる。	ISO活動の実践や広報を通して環境保全に関する興味・意識が高まったとする生徒の増加の割合(昨年度比)が、 A 10%以上 B 5%以上 C 0%以上 D マイナス	[判定] D  昨年度 57.2%、今年度 53.4%でマイナス	・昨年度より4%のマイナスになっている。昨年度は震災の影響で節電やエコ活動の推進意識が高まっていたが、本年度に入ってやや意識が薄れて来たようだ。 ・今後、少しでも高まる様に工夫・広報・実践をして行きたい。
	⑤ 魅力ある充実した図書館を目指し、蔵書の電算化を活用し、効率的な図書検索や蔵書管理を行うとともに、図書コーナーを充実させるなど、読書・学習環境の整備に努める。	図書課	【成果指標】 図書館の利便性が高まり、図書の貸出し数が増えている。	1年間（1月末現在）の本の貸出し数が、 A 4,500冊以上 B 4,000冊以上 C 3,500冊以上 D 3,500冊未満	[判定] D  9月末現在で1,812冊と目標の2,700冊（Aの月換算）を大きく下回り、2,100冊未満（Dの月換算）であった。	・4月は貸出し数693冊と順調な滑り出しであったが、5月359冊、6月245冊、7月312冊、8月94冊、9月131冊と減少している。これから秋の読書週間（10月27日～11月9日）に向けて貸出し数増加に向けた取り組み（新刊図書の購入、図書館だよりの発行、しおりの配布など）を実施する予定である。
	⑥ 悩みや問題を抱える生徒の早期発見に努め、教職員間の連携を密にしながら、すべての生徒が希望を持って学校生活を送れるように支援する。	教育相談室	【満足度指標】 気軽に相談室を利用することで、精神の安定が保たれるようにする。	相談室を利用した生徒による学校評価アンケートの「気軽に相談でき利用しやすい」の項目で、（よくあてはまる）＋（ややあてはまる）の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	未定	・12月に来室者へのアンケートを実施して判定する。 ・各学年や保健室との連携を密にし、悩みや問題を抱える生徒に対して早期の対応を心がけている。 ・生徒が気軽に利用できるような相談室の環境を整え、問題が深刻化する前に的確に対応する体制を整えたい。

重点目標	具体的取組	主担当	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	集計結果	分析（成果と課題）および後期の扱い（改善策）
3 「正義を愛し、社会から信頼されること」をふまえ、生徒とともに開かれた学校づくりに努める。  ・保護者懇談会、授業公開の機会拡大。地域社会と連携したボランティア活動の推進。	① 保護者懇談会、PTA 活動、いしかわ教育ウィークなどを通して積極的に学校を公開し、保護者や地域住民との連携を強くし、開かれた学校づくりをめざす。	総務課	<b>【成果指標】</b> 本校の教育に対する保護者等の関心が高まり、学校公開への参加者が増えた。	PTA総会、「いしかわ教育ウィーク」、「生き方講演会」の保護者・地域住民の来校者数の合計が、 A 1,000人以上 B 800人以上 C 600人以上 D 600人未満	[判定] A PTA 総会 829人（家族を含むと900） 「生き方講演会」は223人。「いしかわ教育ウィーク」は未実施。	・PTA 総会 829人（家族を含むと900）、「生き方講演会」は223人が出席。講師は有名な宇宙飛行士の山崎直子さんということもあり、多くのPTAが出席した。 ・「いしかわ教育ウィーク」については、昨年以上の参加者になるような機会を捉えてPRに力を入れたい。地域住民には案内のチラシを配布する予定である。
	② 理科1・2年生が「創立記念祭における理科教室」、「中学生サイエンスフェア」及び「高校生による青少年のための科学の祭典」等において、小・中学生を対象にした理科教室を開講し、科学教育の面から地域に貢献する。	SSH推進室	<b>【満足度指標】</b> 「理科教室」の運営を通して、生徒の地域貢献に対する意識が高まる。	理科教室を開いたことを「大変良かった」または「良かった」と回答する理科科生徒の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	[判定] A 実施後のアンケートの結果、「大変良かった」または「良かった」と回答した生徒の割合は100%であった。(64.1%+35.9%)	・1年生理科科生徒による「理科教室」は、事後のアンケートの結果、本校の生徒にとっても参加者にとっても満足度の高い取組となっていることがわかる。是非、今後も続けていけばよい取組であると考えられる。しかし、今年度の参加者に対するアンケートの回収率は60～70%程度になると思われる。次年度以降、アンケートの回収率を上げるための方策を講じる必要性がある。
	③ ホームページの更新を定期的に行い、各種行事・部活動・SSHの様子や教育課程・進路などの情報を、よりわかりやすく発信する。	情報管理室	<b>【満足度指標】</b> 「学校のホームページにより、学校の様子が変わる」という保護者が増加した。	「学校のホームページにより、学校の様子が変わる」という項目の「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	未定	・12月にアンケート実施予定。 ・ホームページの更新回数は前年度並みであるが、部活動成績など情報発信はよりきめ細かく行うことができている。後期に向けて同様に取り組みたい。
	④ 「学年だより」、「進路だより」等を通じて、生徒の学校での様子を伝えるとともに、保護者の学校行事への参加拡大につなげていく。	1学年 2学年 3学年	<b>【満足度指標】</b> 学校からのたより・通信等は学校の様子についてわかりやすく伝えているとする保護者の割合が高い。	学校からのたより・通信等は学校の様子についてわかりやすく伝えているとする保護者の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	未定	・12月にアンケート実施予定。